

要件と資格付与試験等の対応表

申請者の氏名又は名称 登録資格協会

代表者の氏名 申請 太郎

資格名称 〇〇資格（□□部門）

施設分野	業務	知識・技術を求める対象	必要な知識・技術	確認すべき資格付与試験等の要件	確認すべき資格付与試験等の要件の解説	要件を満たす代表的な設問・講習等 ※「確認すべき資格付与試験等の要件」における要件ごとに、1件以上5件以内（試験問題は1問につき1件）を記入					適合性の判定		
							試験等の分類	実施年度	確認すべき資格付与試験等の要件に対応する代表的な設問・講習等	左記の設問・講習等の内容を 示す資料の提出			左記の設問・講習等が 確認すべき資格付与試験等の要件を満たす理由
							プルダウン	プルダウン	記入	記入	記入	申請者は 記入しない	
堤防・河道	点検・診断	業務の管理及び統括等を行う者（管理技術者）	堤防・河道の点検・診断業務を確実に履行するために必要な知識及び技術に加え、業務の管理及び統括を行う能力	1 河川の法令に関する知識を有することを確認するものであること	「河川の法令に関する知識」とは、当該施設に係る点検・診断業務を確実に履行するために必要となる河川法、河川法施行令、河川管理施設等構造令、河川法施行規則のうち維持管理に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問2	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	河川法施行令における河川管理施設等の維持管理のうち、河川管理施設等の点検に関する出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	択一試験 問4	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	河川法施行規則における河川管理施設等の維持管理のうち、河川管理施設等の維持又は修繕に関する技術的基準等に関する出題である。		
						3	択一試験	令和7年度	択一試験 問6	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	河川管理施設等構造令より堤防に関する出題である。		
						4	口頭試験	令和7年度	法令で定める維持管理に関する知識を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	当該資格の面接試験実施要領に従い、河川法、河川法施行令における維持管理に関する規定について、口頭試問で知識を問う。		
						5	講習/講義	令和7年度	技術講習会テキストp〇～p〇	技術講習会テキスト抜粋を添付	受験者が受講必須の技術講習会において、河川の法令に関する講習がある。		
				2 堤防・河道の点検・診断を含む河川管理に関する知識を有することを確認するものであること	「堤防・河道の点検・診断を含む河川管理に関する知識」とは、当該施設に係る点検・診断業務を確実に履行するために必要となる河川砂防技術基準、工作物設置許可基準、堤防等河川管理施設及び河道の点検要領、堤防及び護岸点検結果評価要領（案）等に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	専門分野択一試験 問1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	河川砂防技術基準 維持管理編（河川編）より、河川管理施設の機能維持に関する出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	専門分野択一試験 問3	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	河川維持管理技術講習会テキストから、河川巡視に関する出題である。		
						3	論述試験	令和7年度	専門分野択一試験 I 問3	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	堤防法面点検に際し特に注意すべき点検内容についての出題である。堤防等河川管理施設及び河道の点検要領、堤防及び護岸点検結果評価要領（案）等の知識を必要とする。		
						4	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験 I 問4	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	堤防護岸の変状要因、変状進行メカニズムについて論述させる出題である。河川砂防技術基準における護岸の設計等に関する知識を必要とする。		
						5	口頭試験	令和7年度	河川管理に関する知識を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	当該資格の面接試験実施要領に従い、堤防・河道の点検、巡視の行い方について具体的に口述させる。		
				3 堤防・河道に係る業務に関し、実務経験を有することを確認するものであること	「堤防・河道に係る業務」とは、河川砂防技術基準維持管理編（河川編）に記載された業務又はこれに類する業務をいう。	1	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験 II 問 1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	受験申込時に記載した実務経験を対象に、業務内容、自身が果たした役割、技術的課題と解決策を論述させ、河川管理に関する知識及び技術、業務の管理及び統括を行う能力を確認する。		
						2	口頭試験	令和7年度	河川管理に関する実務経験を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	受験申込時に記載した実務経験をもとに、受験者の堤防・河道に係る知識及び技術、リーダーとして果たした役割等を具体的に口述させ、業務の管理及び統括を行う能力を確認する。		
						3	その他	令和7年度	受験要件	受験の手引きを添付	受験要件として、堤防・河道に関する実務経験年数〇年以上あり、そのうち指導的立場で〇年以上の実務経験を有することを、受験申込時に提出する業務経歴証明書で確認する。		
						4					管理技術者を求めており、指導的立場やリーダーとして果たした役割等を問うなど、必要な知識・技術として記載されている「業務の管理及び統括を行う能力」の確認が行われることがわかるように記載すること。		
						5							

（留意事項）

- ・実施年度については、新規の登録申請にあっては過去5年程度以内、登録更新の申請にあっては登録期間中の年度に限る。
- ・「確認すべき資格付与試験等の要件」に対応する代表的な設問番号・講習内容等を記入すること。要件ごとに必ず1件以上5件以内で記入すること。
- ・記入した設問番号の試験問題や講習等のプログラムを抜粋して、[試験問題等の抜粋集]を作成して提出すること。
- ・[試験問題等の抜粋集]とは別途に、試験問題や講習等のプログラムの全部を[試験問題等の一式]として提出すること。

要件と資格付与試験等の対応表

申請者の氏名又は名称 登録資格協会
代表者の氏名 申請 太郎
資格名称 〇〇資格（□□部門）

施設分野	業務	知識・技術を求める対象	必要な知識・技術	確認すべき資格付与試験等の要件	確認すべき資格付与試験等の要件の解説	要件を満たす代表的な設問・講習等 ※「確認すべき資格付与試験等の要件」における要件ごとに、1件以上5件以内（試験問題は1問につき1件）を記入					適合性の判定			
						試験等の分類	実施年度	確認すべき資格付与試験等の要件に対応する代表的な設問・講習等	左記の設問・講習等の内容を示す資料の提出	左記の設問・講習等が確認すべき資格付与試験等の要件を満たす理由				
						プルダウン	プルダウン	記入	記入	記入	申請者は記入しない			
下水道管路施設	点検・診断	業務の管理及び統括等を行う者（管理技術者）	下水道管路施設の点検・診断業務を確実に履行するため、下水道管路管理や安全管理に関する法規等に加え、確実な点検・診断手法を選定する能力、異状の程度や緊急度等を適切に判断する技術、並びに業務の管理及び統括を行う能力	1 下水道の法令に関する知識を有することを確認するものであること	「下水道の法令に関する知識」とは、下水道法、下水道法施行令及び下水道法施行規則等に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問8	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	下水道法に規定する排水設備の技術上の基準に関する出題である。			
						2	択一試験	令和7年度	択一試験 問8	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	下水道法施行規則下水道法に規定する下水道の維持又は修繕に関する技術上の基準に関する出題である。			
						3								
						4								
						5								
				2 下水道管路施設の点検（潜行目視及びカメラ等）・診断に関する知識を有することを確認するものであること	「下水道管路施設の点検・診断に関する知識」とは、下水道事業のストックマネジメント実施に関するガイドライン～2015年版～（平成27年11月発刊）、下水道維持管理指針、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）等に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問11	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	管路施設の維持管理における調査方法の分類に関する出題である。下水道維持管理指針、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）等の知識を必要とする。			
						2	択一試験	令和7年度	択一試験 問13	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	非開削空洞探査の方法に関する出題である。下水道維持管理指針、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）等の知識を必要とする。			
						3								
						4								
						5								
				3 下水道管路施設の確実な点検・診断手法を選定し業務を管理する能力を確認するとともに、下水道管路施設の異状の程度や緊急度等を適切に判断する技術を有することを実地又はそれに準じる方法により確認するものであること	「点検」とは、下水道法に基づく下水道管路施設を対象に、マンホール蓋を開け、管内目視やTVカメラ等により、劣化の実態や動向の定量的な確認ほか、目視等による管路施設状況把握・異状有無の確認を含む。 「確実な点検・診断手法を選定し業務を管理する能力」とは、現場条件を勘案したうえで、最も適した調査方法、安全管理体制等を立案し業務計画書を作成する能力をいう。 「異状の程度や緊急度等を適切に判断する技術」とは、実際に管内を撮影した映像をもとに異状の程度や、対策を実施すべき時期を判断することができる技術をいう。 「実地又はそれに準じる方法」とは、実現場においてカメラ等を用いた映像もしくは撮影済みの映像を用いて、実際に報告書類を作成する方法をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問20	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	テレビカメラ調査の業務計画書作成に関する出題である。下水道維持管理指針、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）等の知識を必要とする。			
						2	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験Ⅱ問 1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	管内を撮影した写真を見て、異状の程度や対策を実施すべき時期を論述させる出題である。			
						3	実地/実技	令和7年度	実技試験	実技試の実施要領を添付	管きょ内テレビカメラ調査の実技試験を行う。			
						4								
						5								
				4 下水道管路施設に係る業務に関し、実務経験を有することを確認するものであること	「下水道管路施設に係る業務」とは、下水道法に基づく下水道管路施設を対象とした清掃、点検、改築・修繕に関する業務等をいう。	1	その他	令和7年度	受験要件	受験の手引きを添付	受験要件として、下水道管路施設の点検・診断業務に関する実務経験年数〇年以上あり、そのうち指導的立場で〇年以上の実務経験を有することを、受験申込時に提出する業務経歴証明書で確認する。		管理技術者を求めている、指導的立場やリーダーとして果たした役割等を問うなど、必要な知識・技術として記載されている「業務の管理及び統括を行う能力」の確認が行われることがわかるように記載すること。	
						2								
						3								
						4								
						5								

（留意事項）
・実施年度については、新規の登録申請にあっては過去5年程度以内、登録更新の申請にあっては登録期間中の年度に限る。
・「確認すべき資格付与試験等の要件」に対応する代表的な設問番号・講習内容等を記入すること。要件ごとに必ず1件以上5件以内で記入すること。
・記入した設問番号の試験問題や講習等のプログラムを抜粋して、[試験問題等の抜粋集]を作成して提出すること。
・[試験問題等の抜粋集]とは別途に、試験問題や講習等のプログラムの全部を[試験問題等の一式]として提出すること。

記入例 ③

要件と資格付与試験等の対応表

申請者の氏名又は名称

登録資格協会

代表者の氏名

申請 太郎

資格名称

〇〇資格（□□部門）

施設分野	業務	知識・技術を求める対象	必要な知識・技術	確認すべき資格付与試験等の要件	確認すべき資格付与試験等の要件の解説	要件を満たす代表的な設問・講習等					適合性の判定	
						※「確認すべき資格付与試験等の要件」における要件ごとに、1件以上5件以内（試験問題は1問につき1件）を記入						
						試験等の分類	実施年度	確認すべき資格付与試験等の要件に対応する代表的な設問・講習等	左記の設問・講習等の内容を示す資料の提出	左記の設問・講習等が確認すべき資格付与試験等の要件を満たす理由	申請者は記入しない	
						プルダウン	プルダウン	記入	記入	記入		
橋梁（コンクリート橋）	点検	業務を担当する者（担当技術者）	道路橋（コンクリート橋）の点検業務の実施にあたり、道路法施行規則（昭和二十七年建設省令第二十五号）第四条の五の六に定められた事項（健全性の診断を除く）を確実に履行するために必要な知識及び技術	道路橋（コンクリート橋）に関する一定の実務経験を有することを確認するものであること、又は道路橋（コンクリート橋）の設計、施工に関する基礎知識を有することを確認するものであること、又は道路橋（コンクリート橋）の点検に関する一定の技術と実務経験を有することを確認するものであること	「道路橋（コンクリート橋）に関する一定の実務経験、道路橋（コンクリート橋）の設計、施工に関する基礎知識」とは、具体には、国が定める道路橋の定期点検要領に定められた事項（健全性の診断を除く）を確実に履行するために必要な知識及び技術をいう。なお、必要な知識及び技術を確認する例として、国が監修する「道路橋定期点検に関する技術者育成プログラム（http://www.nilim.go.jp/lab/ubg/suguni/index.html）」を参考とできる。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問8	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	上部構造が担う機能を踏まえて、道路橋定期点検要領に基づき近接目視、打音、触診等を行う場合に把握しておくことがよい変状の種類に関する出題である。	
						2	論述試験	令和7年度	記述試験 問1-2	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	道路橋定期点検要領に基づいて点検を適切に行うために必要となる下部構造の設計、施工に関する出題である。	
						3	実地/実技	令和7年度	1日間の現地研修必須 橋梁点検調書作成	実地試験問題解答用紙を添付	道路橋定期点検要領に基づいて、コンクリート橋の点検と様式への記録記入に関する実地研修である。	
						4	講習/講義	令和7年度	受験要件として参加必須の講習会	講習カリキュラムを添付	座学講習に以下のカリキュラムが含まれている。 ・橋梁点検のポイント ・コンクリート橋の点検技術	
						5	その他	令和7年度	受験要件	受験の手引きを添付	受験要件において、道路橋（コンクリート橋）の点検業務について実務経験を〇年以上有することを、受験申込時に提出する業務経歴証明書で確認する。	

- (留意事項)
- ・実施年度については、新規の登録申請にあっては過去5年程度以内、登録更新の申請にあっては登録期間中の年度に限る。

・「確認すべき資格付与試験等の要件」に対応する代表的な設問番号・講習内容等を記入すること。要件ごとに必ず1件以上5件以内で記入すること。

・記入した設問番号の試験問題や講習等のプログラムを抜粋して、[試験問題等の抜粋集]を作成して提出すること。

・[試験問題等の抜粋集]とは別途に、試験問題や講習等のプログラムの全部を[試験問題等の一式]として提出すること。

要件と資格付与試験等の対応表

申請者の氏名又は名称 登録資格協会
代表者の氏名 申請 太郎
資格名称 〇〇資格（□□部門）

施設分野	業務	知識・技術を求める対象	必要な知識・技術	確認すべき資格付与試験等の要件	確認すべき資格付与試験等の要件の解説	要件を満たす代表的な設問・講習等						適合性の判定	
						※「確認すべき資格付与試験等の要件」における要件ごとに、1件以上5件以内（試験問題は1問につき1件）を記入							
							試験等の分類	実施年度	確認すべき資格付与試験等の要件に対応する代表的な設問・講習等	左記の設問・講習等の内容を示す資料の提出	左記の設問・講習等が確認すべき資格付与試験等の要件を満たす理由		申請者は記入しない
						プルダウン	プルダウン	記入	記入	記入			
地質・土質	調査	業務の管理及び統括等を行う者（管理技術者又は主任技術者）	地質・土質の調査業務を確実に履行するために必要な知識及び技術に加え、業務の管理及び統括を行う能力	1 地質・土質の調査業務を確実に履行するための知識を有することを確認するものであること	「地質・土質の調査業務」とは、国土交通省の「地質・土質調査業務共通仕様書（案）」及び「土木設計業務等共通仕様書（案）」に記載された地質・土質に関する各種調査・試験、解析、物理探査等をいう。 「地質・土質の調査業務を確実に履行するための知識」とは、国土交通省の「土木設計業務等共通仕様書（案）」に記載された各種の主要技術基準及び参考図書のうち、地質・土質調査に関する部分の知識であり、具体には、地質・土質調査に関する「各種調査・試験（ボーリング調査・試験（ボーリング調査、地形・地質調査、物理探査、土質試験、孔内原位試験 等）」及び「解析（地盤解析、地質解析 等）」を確実に履行するための知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	問4	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	地質・土質調査業務共通仕様書（案）に記載された地すべり調査の種類と目的に関する出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	問9	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	地形・地質調査として、陰影図が示す範囲を構成する主要な地質を解答させる出題。		
						3	択一試験	令和7年度	問（2）-4	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「地盤材料試験の方法と解説」より、土質試験の静的力学試験に関する出題。		
						4	択一試験	令和7年度	問（2）-4	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	地質・土質調査業務共通仕様書（案）に基づいて実施する機械ボーリングに関する出題である。		
						5	論述試験	令和7年度	論述問題1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	地質・土質調査業務共通仕様書（案）に基づいて実施する現況地盤解析に関する出題である。		
				2 地質・土質の調査業務において、的確な課題解決能力を有することを過去の実務経験等によって確認するものであること	「地質・土質の調査業務」とは、国土交通省の「地質・土質調査業務共通仕様書（案）」及び「土木設計業務等共通仕様書（案）」に記載された地質・土質に関する各種調査・試験、解析、物理探査等をいう。	1	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験Ⅱ問 1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	受験申込時に記載した実務経験を対象に、業務内容、自身がリーダーとして果たした役割、技術的課題と解決策を論述させ、地質・土質の調査業務において的確な課題解決能力を有することを確認する。		
						2	口頭試験	令和7年度	地質・土質に関する実務経験を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	受験申込時に記載した実務経験をもとに、受験者の地質・土質に関する知識及び技術、リーダーとして果たした役割等を具体的に口述させ、的確な課題解決能力を有することを確認する。		
						3							
						4							
						5							
要件において「的確な課題解決能力を有することを過去の実務経験等によって確認すること」とあることから、「地質・土質の調査業務〇年以上」といった実務経験を、要件を満たす代表的な設問・講習等として記載する場合には、指導的立場での実務経験や論述試験、口頭試験等において、技術的課題と解決策を問うなど、課題解決能力の													

（留意事項）
・実施年度については、新規の登録申請にあっては過去 5 年程度以内、登録更新の申請にあっては登録期間中の年度に限る。
・「確認すべき資格付与試験等の要件」に対応する代表的な設問番号・講習内容等を記入すること。要件ごとに必ず1件以上5件以内で記入すること。
・記入した設問番号の試験問題や講習等のプログラムを抜粋して、[試験問題等の抜粋集]を作成して提出すること。
・[試験問題等の抜粋集]とは別途に、試験問題や講習等のプログラムの全部を[試験問題等の一式]として提出すること。

記入例 ⑤

2-17-5-5

2-港湾-計・調（全般）-管理・照査

様式6（登録規程第3条第4項第三号二関係）

要件と資格付与試験等の対応表

申請者の氏名又は名称 登録資格協会

代表者の氏名 申請 太郎

資格名称 〇〇資格（□□部門）

施設分野	業務	知識・技術を求める対象	必要な知識・技術	確認すべき資格付与試験等の要件	確認すべき資格付与試験等の要件の解説	要件を満たす代表的な設問・講習等						適合性の判定	
						※「確認すべき資格付与試験等の要件」における要件ごとに、1件以上5件以内（試験問題は1問につき1件）を記入							
							試験等の分類	実施年度	確認すべき資格付与試験等の要件に対応する代表的な設問・講習等	左記の設問・講習等の内容を示す資料の提出	左記の設問・講習等が確認すべき資格付与試験等の要件を満たす理由		
						プルダウン	プルダウン	記入	記入	記入	申請者は記入しない		
港湾	計画・調査（全般）	業務の管理及び統括等を行う者（管理技術者） ・ 業務の技術上の照査を行う者（照査技術者）	港湾の計画・調査業務を確実に履行するために必要な知識及び技術に加え、業務の管理及び統括を行う能力	1 港湾に係る法令に関する知識を有することを確認するものであること	「港湾に係る法令に関する知識」とは、港湾法、港湾法施行令、港湾法施行規則、港湾の施設の技術上の基準を定める省令に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	港湾法に規定する港湾区域・港湾施設に関する出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	択一試験 問3	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	港湾法に基づき、港湾管理者が定める港湾計画に関する出題である。		
						3	択一試験	令和7年度	択一試験 問5	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	港湾区域に洋上風力発電施設等を導入する際に関わる港湾法（施行令、施行規則を含む）の規定に関する出題である。		
						4	択一試験	令和7年度	択一試験 問7	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「港湾の施設の技術上の基準を定める省令」における、外郭施設の要求性能に関する出題である。		
						5	講習/講義	令和7年度	技術講習会テキストp〇～p〇	技術講習会テキスト抜粋	受験者が受講必須の技術講習会において、港湾に係る法令に関する講習がある。		
				2 港湾の計画・調査業務に関する専門知識を有することを確認するものであること	「港湾の計画・調査業務」とは、港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書に記載されている業務のうち計画及び調査に関する業務をいう。 「港湾の計画及び調査業務に関する専門知識」とは、港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書に記載されている業務若しくは港湾の施設の技術上の基準・同解説のうち計画及び調査業務に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	専門分野択一試験 問1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「港湾設計・測量・調査等 業務共通仕様書」第2章 港湾計画等調査業務より、現況把握に必要な調査項目に関する出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	専門分野択一試験 問3	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「港湾の施設の技術上の基準・同解説」より、係留施設の配置に関する出題である。		
						3	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験Ⅰ 問2	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	現地調査の計画を立案する際に留意すべき点について論述する出題である。港湾に係る法令や共通仕様書、技術基準を踏まえて解答する必要がある。		
						4	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験Ⅰ 問4	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	内湾域において人工島を造成しようとする場合の法線計画を立案するために行うべき検討項目について論述する出題である。港湾に係る法令や共通仕様書、技術基準を踏まえて解答する必要がある。		
						5	口頭試験	令和7年度	港湾の計画・調査業務に関する知識を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	当該資格の面接試験実施要領に従い、堤防・河道の点検、巡視の行い方について具体的に口述させる。		
				3 港湾の計画・調査業務に関する実務経験を有することを確認するものであること	「港湾の計画・調査業務」とは、港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書に記載されている業務のうち計画及び調査に関する業務をいう。	1	論述試験	令和7年度	専門分野論述試験Ⅱ 問1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	受験申込時に記載した実務経験を対象に、業務内容、自身が果たした役割、技術的課題と解決策を論述させ、港湾の計画・調査業務に関する知識及び技術、業務の管理及び統括を行う能力を確認する。		
						2	口頭試験	令和7年度	港湾の計画・調査に関する実務経験を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	受験申込時に記載した実務経験をもとに、受験者の港湾の計画・調査に関する知識及び技術、リーダーとして果たした役割等を具体的に口述させ、業務の管理及び統括を行う能力を確認する。		
						3	その他	令和7年度	受験要件	受験の手引きを添付	受験要件として、港湾の計画・調査業務に関する実務経験年数〇年以上あり、そのうち指導的立場で〇年以上の実務経験を有することを、受験申込時に提出する業務経歴証明書で確認する。		
						4					管理技術者を求めている、指導的立場やリーダーとして果たした役割等を問うなど、必要な知識・技術として記載されている「業務の管理及び統括を行う能力」の確認が行われることがわかるように記載すること。		
						5							

（留意事項）

- ・実施年度については、新規の登録申請にあっては過去5年程度以内、登録更新の申請にあっては登録期間中の年度に限る。
- ・「確認すべき資格付与試験等の要件」に対応する代表的な設問番号・講習内容等を記入すること。要件ごとに必ず1件以上5件以内で記入すること。
- ・記入した設問番号の試験問題や講習等のプログラムを抜粋して、[試験問題等の抜粋集]を作成して提出すること。
- ・[試験問題等の抜粋集]とは別途に、試験問題や講習等のプログラムの全部を[試験問題等の一式]として提出すること。

要件と資格付与試験等の対応表

申請者の氏名又は名称 登録資格協会

代表者の氏名 申請 太郎

資格名称 〇〇資格（□□部門）

施設分野	業務	知識・技術を求める対象	必要な知識・技術	確認すべき資格付与試験等の要件	確認すべき資格付与試験等の要件の解説	要件を満たす代表的な設問・講習等 ※「確認すべき資格付与試験等の要件」における要件ごとに、1件以上5件以内（試験問題は1問につき1件）を記入					適合性の判定		
							試験等の分類	実施年度	確認すべき資格付与試験等の要件に対応する代表的な設問・講習等	左記の設問・講習等の内容を示す資料の提出			左記の設問・講習等が確認すべき資格付与試験等の要件を満たす理由
							プルダウン	プルダウン	記入	記入	記入	申請者は記入しない	
全施設	データ管理（BIM/CIM（複数の土木業務・工事で作成した3次元モデルを統合し、活用する業務をいう。以下この表において同じ。））	業務の管理及び統括等を行う者（管理技術者又は主任技術者）	業務の管理及びデータ管理（BIM/CIM）を確実に履行するために必要な知識及び技術に加え、これらの業務の管理及び統括を行う能力	1 BIM/CIMに関する専門知識を有することを確認するものであること	「BIM/CIMに関する専門知識」とは、土木施設の計画、調査、測量、設計、施工、維持管理などへのBIM/CIMの適用に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問1	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	BIM/CIMで用いる地形モデルを作成するために面的に計測する3次元測量手法に出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	択一試験 問3	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	BIM/CIMの詳細度の使い分けに関する出題である。		
						3	択一試験	令和7年度	択一試験 問5	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	ソリッドモデルの形状表現に関する出題である。		
						4	択一試験	令和7年度	択一試験 問7	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	3次元モデルを積算と施工計画段階に導入した場合のメリットに関する出題である。		
						5	択一試験	令和7年度	択一試験 問9	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	施工管理におけるBIM/CIM活用に関する出題である。		
				2 BIM/CIMに係る最新の基準、要領に関する知識を有することを確認するものであること	「BIM/CIMに係る最新の基準、要領に関する知識」とは、国土交通省が作成・発出するBIM/CIMに係る各種ガイドライン等、及びBIM/CIMに係る国際規格に関する知識をいう。	1	択一試験	令和7年度	択一試験 問10	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	〇〇年〇月改訂版ISO19650と共通データ環境（CDE）に関する出題である。		
						2	択一試験	令和7年度	択一試験 問12	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	国際標準フォーマットIFCファイルの活用に関する出題である。（〇〇年〇月改訂版）		
						3	択一試験	令和7年度	択一試験 問14	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「BIM/CIM取扱要領（〇〇年〇月）」から、3次元モデルの座標及び単位・基準点に関する出題である。		
						4	択一試験	令和7年度	択一試験 問16	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「BIM/CIM取扱要領（〇〇年〇月）」附属資料2 から、設計段階における3次元モデルと2次元図面の整合確認方法に関する出題である。		
						5	択一試験	令和7年度	択一試験 問18	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	「設計－施工間の情報連携を目的とした4次元モデル活用の手引き（案）（〇〇年〇月）」から、4次元モデルの作成に関する出題である。		
				3 BIM/CIMに関し、実務経験を有する者を対象としていること	実務経験とは、土木施設の計画、調査、測量、設計、施工、維持管理などの実務の経験をいう。	1	論述試験	令和7年度	論述試験	設問を試験問題抜粋集に貼り付け	BIM/CIM活用業務又は工事の実務経験を対象に、業務内容、自身が果たした役割、技術的課題と解決策を論述させ、BIM/CIMに関する知識及び技術、業務の管理及び統括を行う能力を確認する。		
						2	口頭試験	令和7年度	BIM/CIM活用業務又は工事に関する実務経験を有するかどうかを確認	面接試験実施要領を添付	受験申込時に記載したBIM/CIM活用業務又は工事の実務経験をもとに、受験者の知識及び技術、リーダーとして果たした役割等を具体的に口述させ、業務の管理及び統括を行う能力を確認する。		
						3	その他	令和7年度	受験要件	受験の手引きを添付	受験要件として、BIM/CIM活用業務又は工事の実務経験に関する実務経験年数〇年以上あり、そのうち指導的立場で〇年以上の実務経験を有することを確認する。		
						4					管理技術者を求めている、指導的立場やリーダーとして果たした役割等を問うなど、必要な知識・技術として記載されている「業務の管理及び統括を行う能力」の確認が行われることがわかるように記載すること。		
						5							

（留意事項）

- ・実施年度については、新規の登録申請にあっては過去5年程度以内、登録更新の申請にあっては登録期間中の年度に限る。
- ・「確認すべき資格付与試験等の要件」に対応する代表的な設問番号・講習内容等を記入すること。要件ごとに必ず1件以上5件以内で記入すること。
- ・記入した設問番号の試験問題や講習等のプログラムを抜粋して、[試験問題等の抜粋集]を作成して提出すること。
- ・[試験問題等の抜粋集]とは別途に、試験問題や講習等のプログラムの全部を[試験問題等の一式]として提出すること。